

2024年の年頭所感を、全職員に語り掛けました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2024年1月4日、仕事始めの日に健育会 本部よりグループの全職員に向けてオンラインで年頭所感を語り掛けました。今月中に全国各地のグループ施設を巡回し、それぞれの氏神様の神社へ参拝します。

新年あけましておめでとうございます。昨年は健育会グループ創立70周年を迎え、グループのミッションである「光り輝く民間病院グループ」に加えて、新たに「愛情を持って親身な対応を心がける」という目標を追加しました。そして研究会や症例発表、現場の視察から、私の想像を超えて「愛情を持って親身な対応を心がける」という目標が現場の皆さんに浸透していることを実感しました。理事長として本当に嬉しく思います。



また新年早々、大変悲惨な出来事が続けて起き、日本はこれから先どうなっていくのかと非常に重い気持ちでお正月を過ごしました。しかしこういう時こそ、私たちは目の前のやるべき仕事をきちんとこなすことが大切です。病を患う人を治療し、その人の気持ちを明るく豊かにする。介護が必要な人には介護のお手伝いをして、その人らしい光り輝く人生を過ごせるようにお手伝いをする。そういうことをきちんと行なっていくことが日本の発展に繋がっていくと思います。

今年は診療報酬改定や介護報酬改定が行われ、経営環境はますます厳しくなります。さらに日本は全体的に少子高齢化が進み、働き手が減少しています。特に医療、介護は人材確保が非常に厳しい状況にあり、今後は人材が確保できるかどうかが発展の分かれ目になっていくと思います。

この難局を乗り切って「光り輝く民間病院グループ」を目指すには、皆さんのチャレンジする気持ちが重要になります。ですから今年は、職場と処遇のさらなる改善に取り組み、日本一働きがいのある職場環境の構築を目指します。私と本部のスタッフ、そして現場の皆さんによる「our team」で取り組んでいきましょう。健育会グループの今年の合言葉は「人、人、人」です。



さらに今期から皆さんの経費削減努力によって、ベースアップの金額を超える経費削減を達成できました。皆さんが頑張ってくれたので、今年は昨年を上回るベースアップを約束します。昇給の度合いも高めて、医療法人としては画期的に手厚い福利厚生制度を充実させます。キャッチフレーズは「健育会に入ったら結婚できます。子供ができます。子育てができます」です。

そして患者さん、ご利用者さんに、現場の皆さんが、安心して医療、介護を提供できる、日本一やりがいのある職場環境を構築することを目指して、私と本部のスタッフ、現場の皆さんの「our team」で頑張っていきたいと思っています。



キーワードは、「チャレンジ」です。チャレンジと言っても大袈裟なものではなく、仕事の仕方や仕事以外のこと、人生のことを毎日考えることだと思ってください。ともすれば医療介護職は毎日同じことの繰り返しですが、その中でも日々考え続けることで、少しずつ無駄なことに気づき改善につながっていきます。そうした皆さんの「考える力」を本部が吸い上げて、新たな職場環境の改善に取り組んでいきたいと思えます。

昨年は70周年で新たなスタートを切り、グループが強くなったことを実感しましたが、辰年の今年はのぼり龍のようにさらにグループが発展することを願っています。

皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

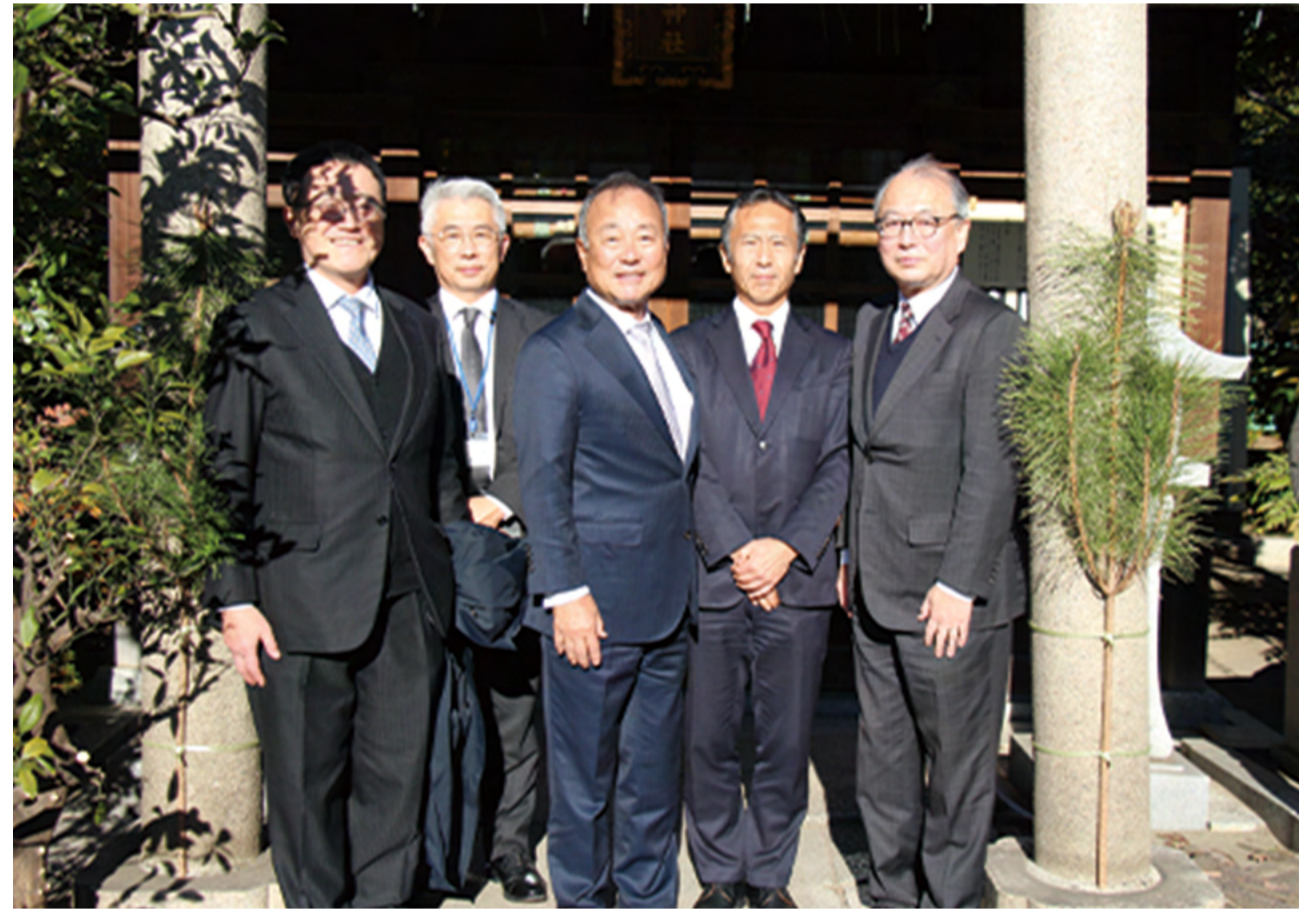
1月4日 (木)

志村 (城山) 熊野神社



1月4日 (木)

住吉神社



1月4日 (木)

石川島記念病院



1月4日 (木)

ケアポート板橋



1月5日 (金)

御嶽大神神社



1月5日 (金)

湘南慶育病院



1月5日 (金)

巖島神社



1月5日 (金)

茅ヶ崎セントラルクリニック



1月5日 (金)

ライフケアガーデン湘南



1月5日 (木)

大庭神社



今後も引き続き、各施設を訪問していきます。